



MONITOUCH

テクニカルインフォメーション

2003年9月20日

テーマ	横河電機 FA-M3R ツールポート、またはパソコンリンクモジュール F3LC12-1F との接続に関して		
該当機種	V7、V6シリーズ	No. TI-M-0020-1	1/9

1. 目的

FA-M3RのCPUモジュールのプログラミングツールポート、またはパソコンリンクモジュール F3LC12-1FとVシリーズを接続する際の設定手順を説明します。

2. 接続環境

モニタッチ : V712is

PLC : FA-M3R(SP58-6H) \ F3LC12-1F

使用ソフト : Wide Field Version R2.04

3. 設定方法

CPUモジュールのプログラミングツールポートと接続する場合
以下の設定で接続します。

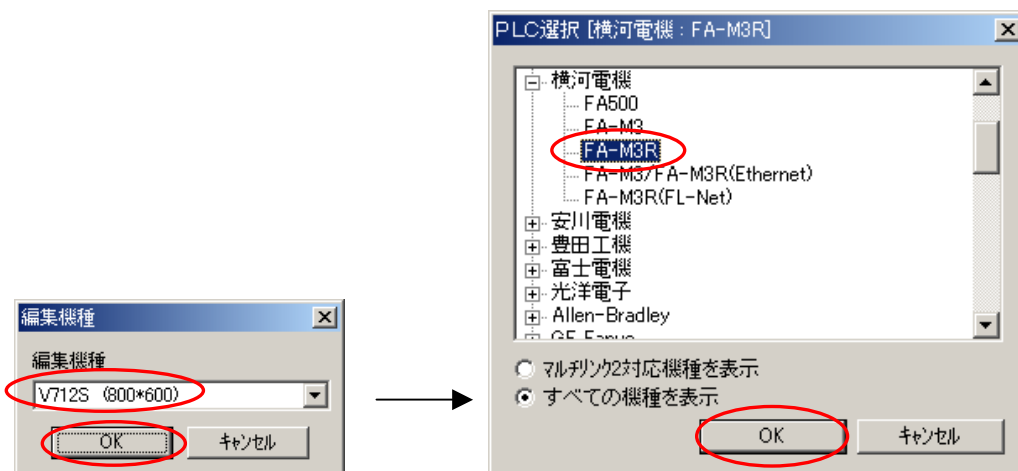
ボーレート : 115 Kbps
データ長 : 8ビット(固定)
ストップビット : 1ビット
パリティ : 偶数
サムチェック : あり

V-SFTの設定

V-SFTを立ち上げ、新規画面を作成します。

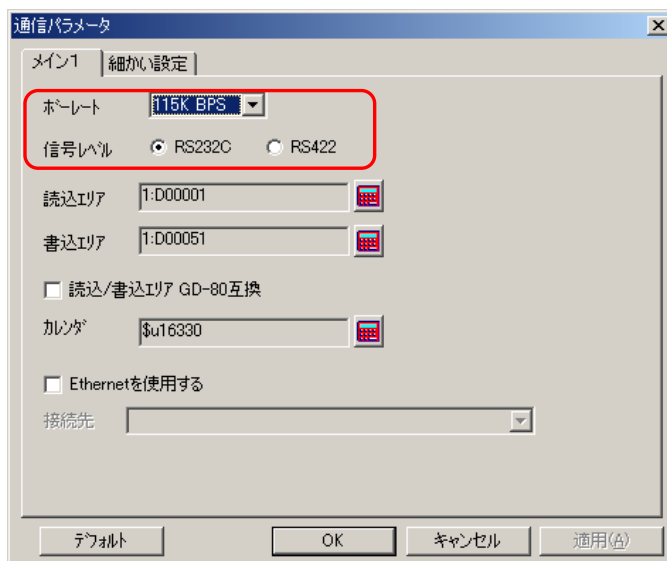
「編集機種」ダイアログでモニタッチの機種を選択し、[OK]をクリックします。

次に、「PLC選択」ダイアログで**横河電機 FA-M3R**を選択し、[OK]をクリックします。



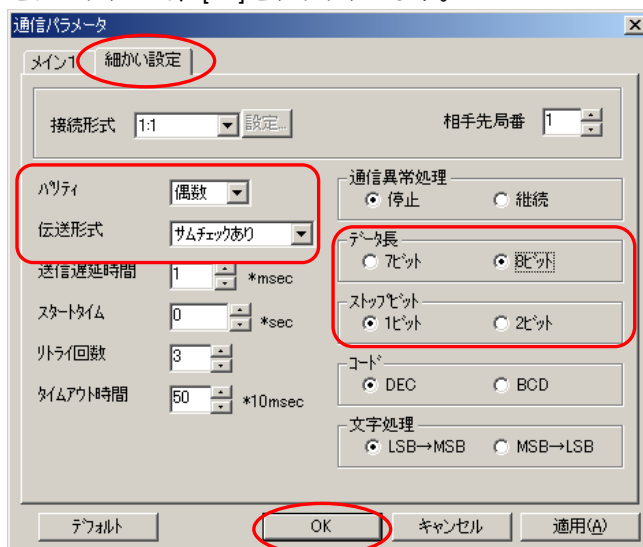
「通信パラメータ」ダイアログが表示されます。

ボーレート：115K BPS に設定、**信号レベル**：RS232C をチェックします。



[細かい設定] タブをクリックします。

パラリティ：偶数、**伝送形式**：サムチェックあり に設定、**データ長**：8ビット、**ストップビット**：1ビット をチェックして、[OK] をクリックします。



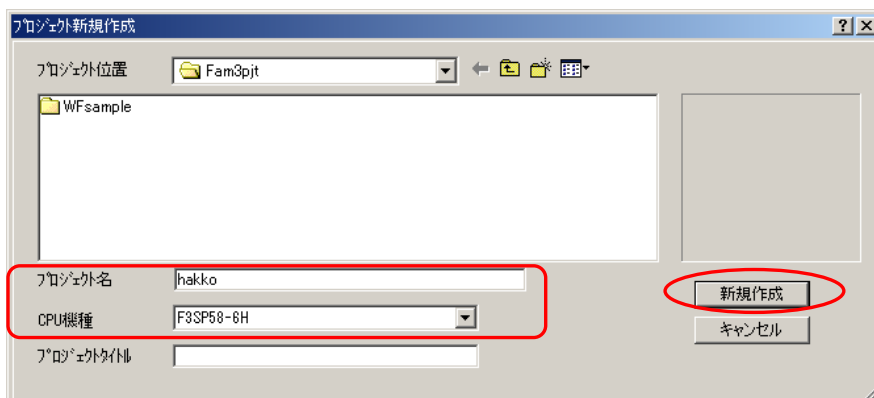
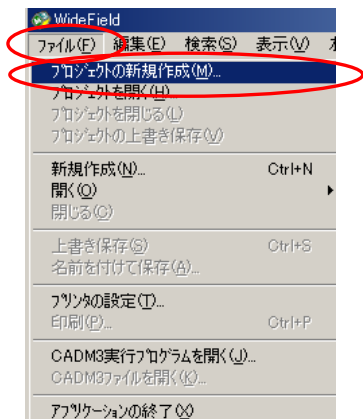
以上で V - S F T の設定は完了です。

Wide Fieldの設定

Wide Fieldを起動します。

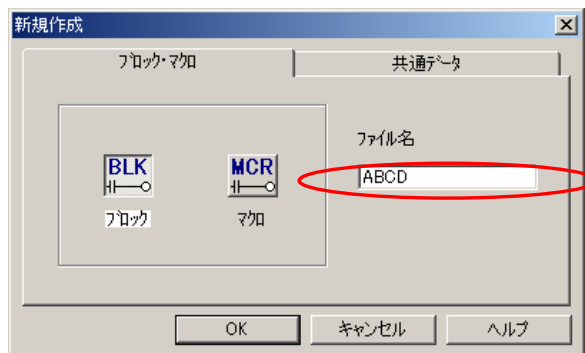
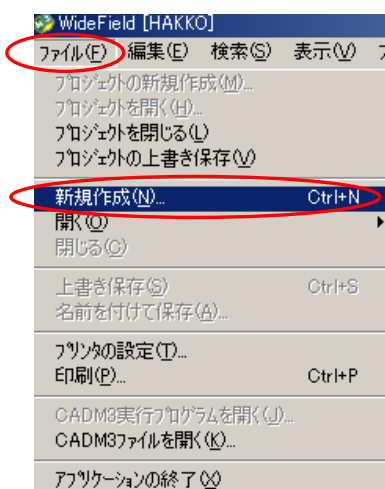
プロジェクトを新規作成する場合は[ファイル] [プロジェクトの新規作成]を選択し、[プロジェクト名]を入力、CPU機種を選択して、[新規作成]をクリックします。

既存のプロジェクトを使用する場合はへ進みます。

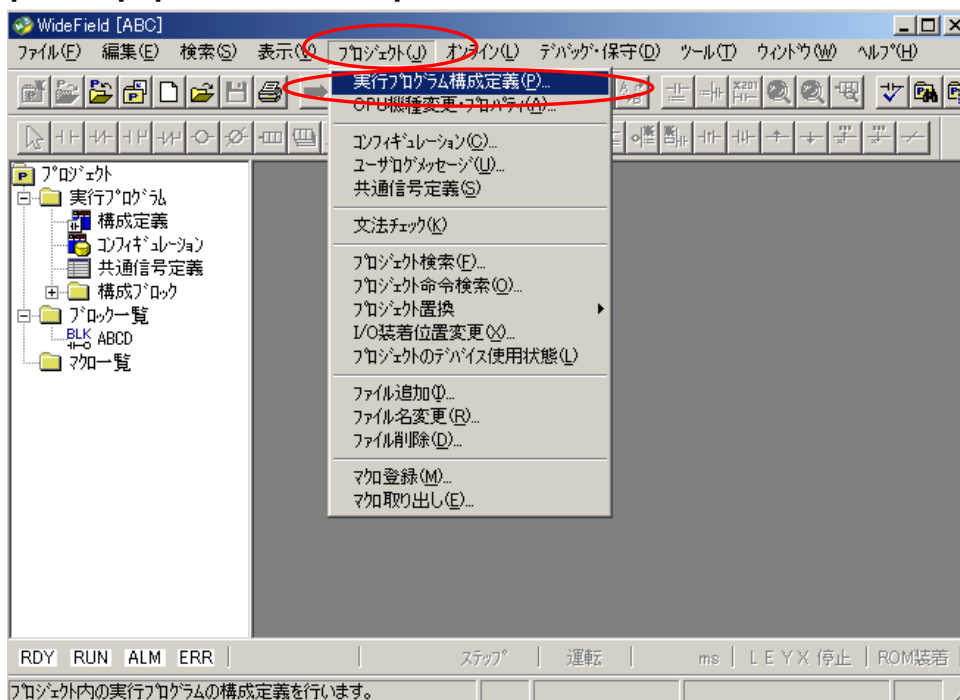


ブロックを作成します。

[ファイル] [新規作成]を選択し、[ブロック]をクリック、ファイル名を入力して[OK]をクリックします。



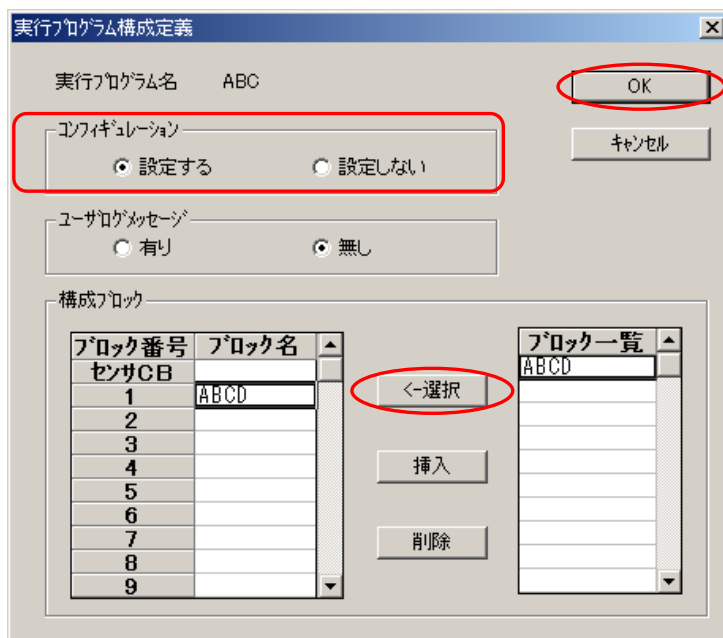
[プロジェクト] [実行プログラム構成定義]を選択します。



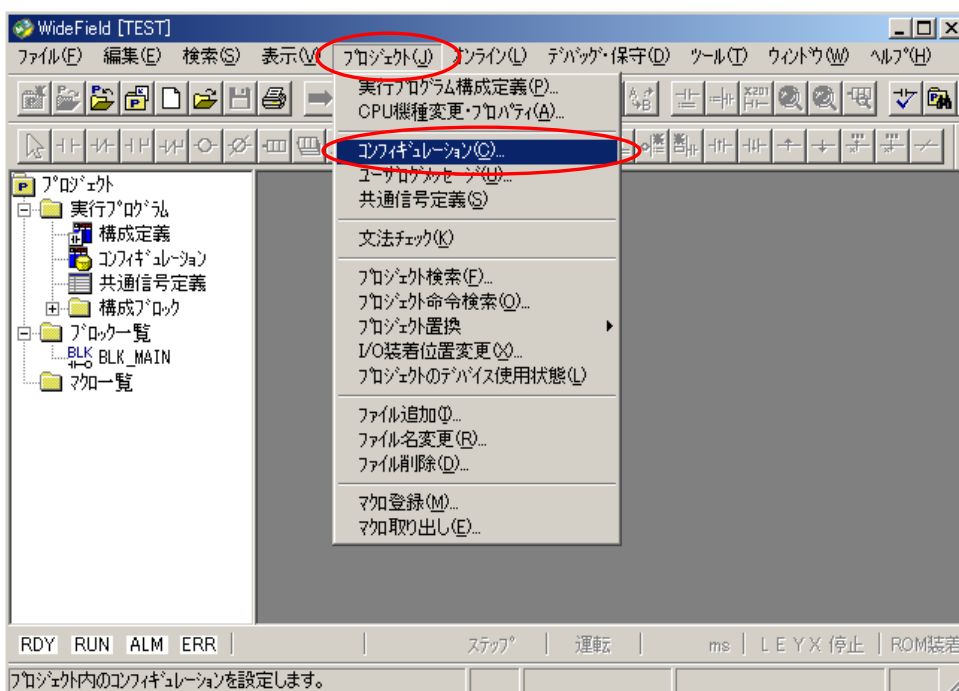
「実行プログラム構成定義」ダイアログが表示されます。

コンフィギュレーション：設定するにチェックをいれます。

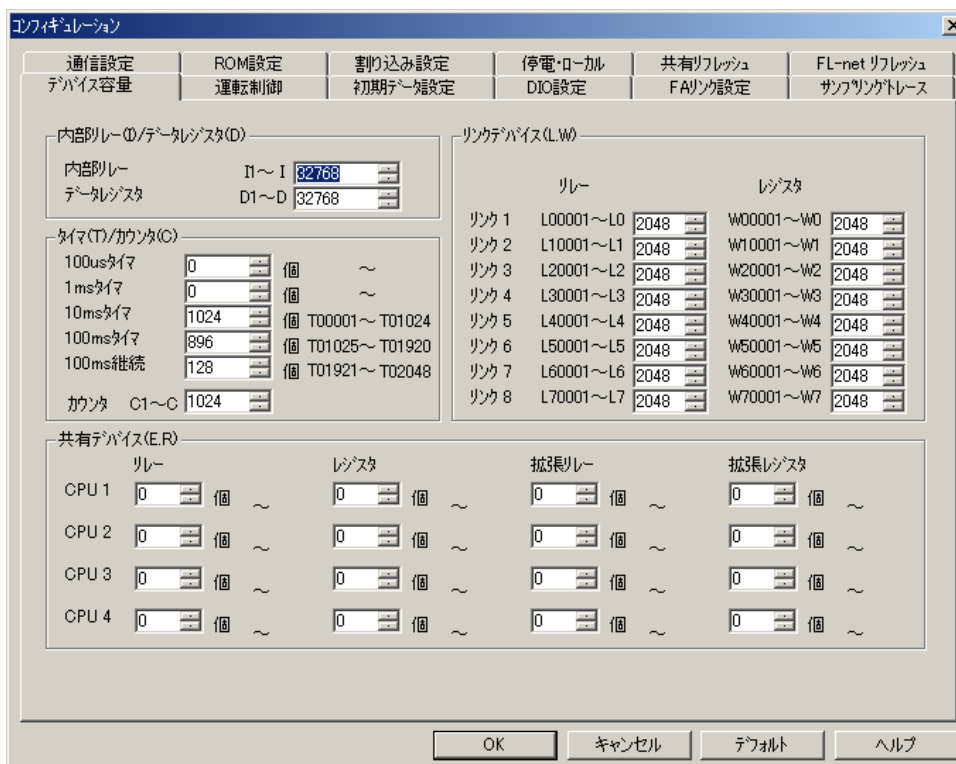
構成ブロックにブロックが登録されていない場合は[<-選択]をクリックして構成ブロックにブロックを登録し、[OK]をクリックします。



[プロジェクト] [コンフィギュレーション]を選択します。



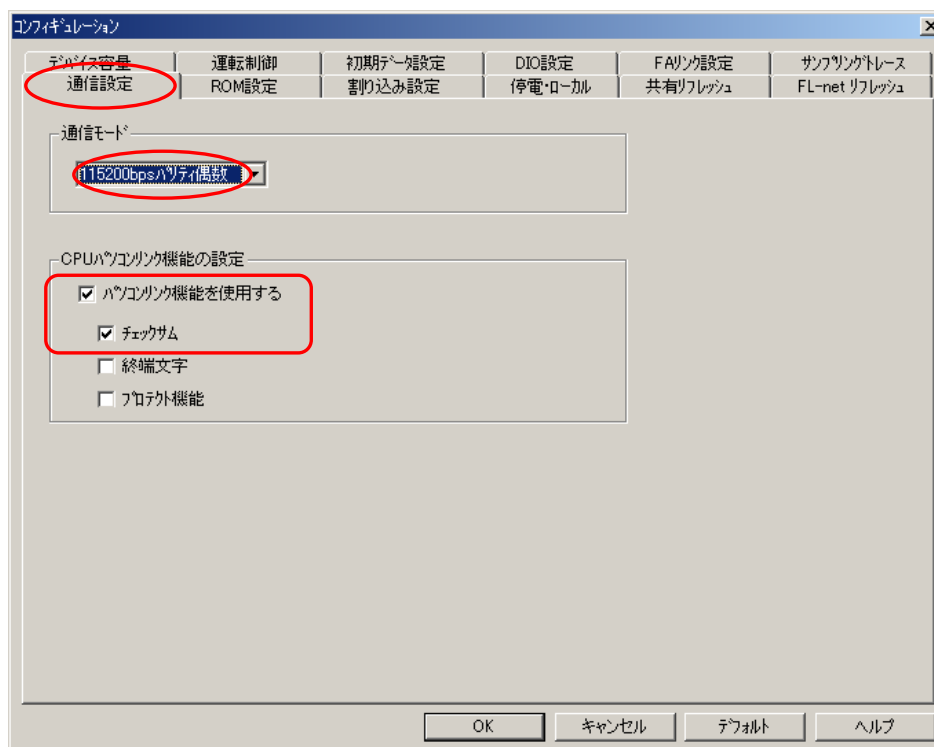
「コンフィギュレーション」ダイアログが表示されます。



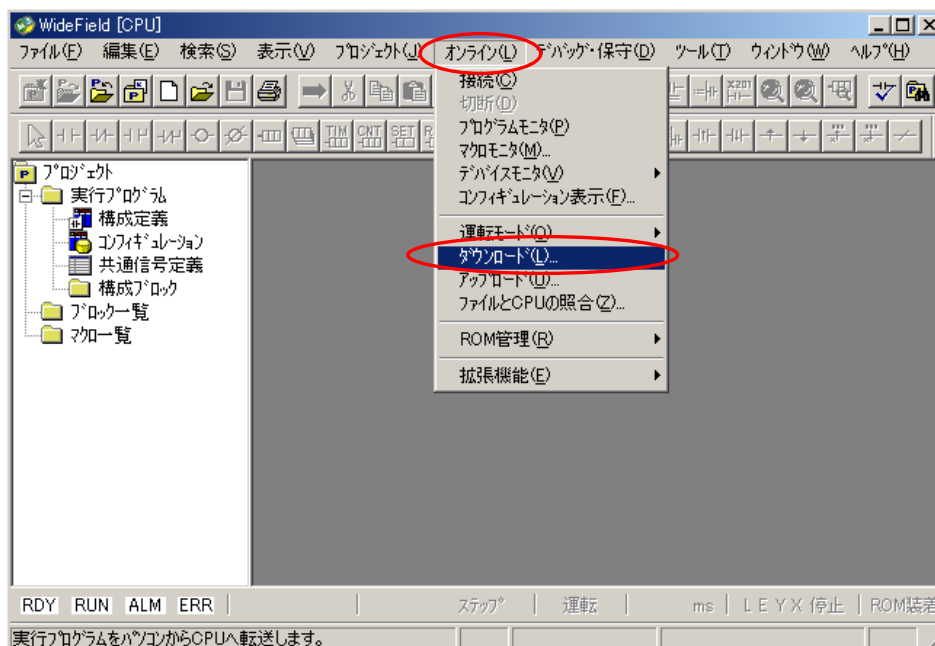
[通信設定]タブをクリックします。

通信モード : 115200bps パリティ偶数を設定します。

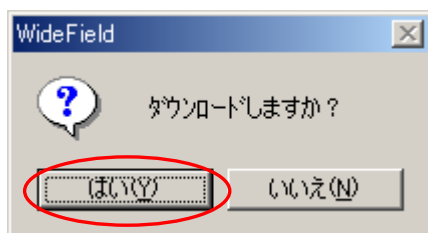
CPUパソコンリンク機能の設定で、**パソコンリンク機能を使用する**、**チェックサム**にチェックをいれます。
設定が完了したら、[OK]をクリックします。



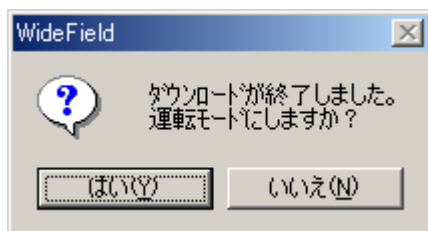
[オンライン] [ダウンロード]を選択します。



以下のダイアログが表示されるので、[はい]をクリックします。



以下のダイアログが表示されると、転送完了です。



以上でWide Fieldの設定は完了です。

パソコンリンクモジュールF3LC12-1Fと接続する場合

ポート1またはポート2に以下の設定で接続します。

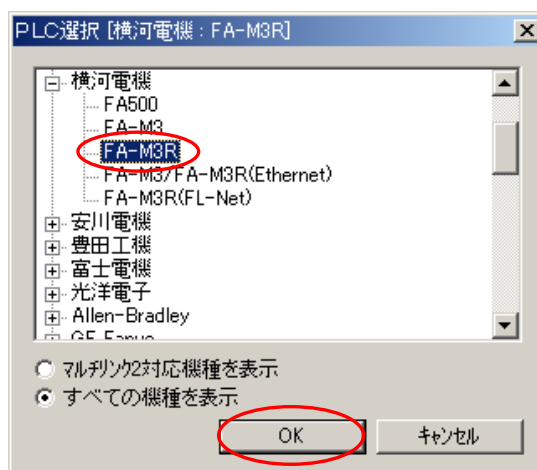
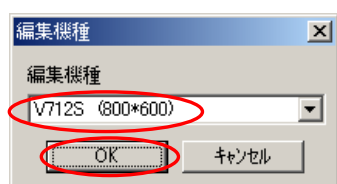
ボーレート : 115 Kbps
 データ長 : 7ビット
 ストップビット : 1ビット
 パリティ : 偶数
 サムチェック : あり

V - SFTの設定

V - SFTを立ち上げ、新規画面を作成します。

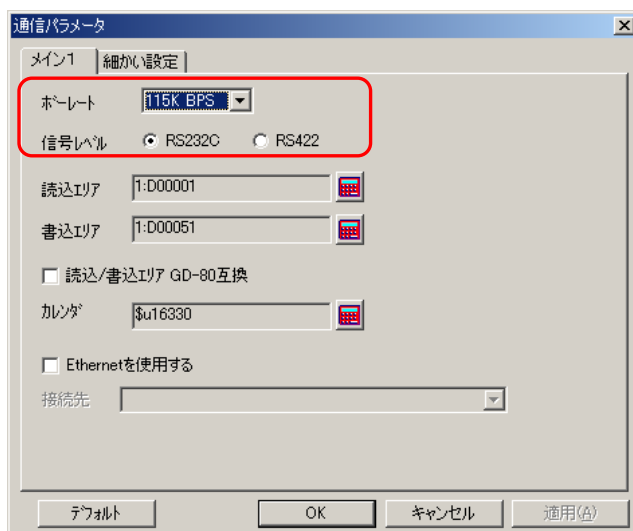
モニタッチの機種を選択し、[OK]をクリックします。

次に、PLCの機種を[横河電機 FA-M3R]を選択し、[OK]をクリックします。



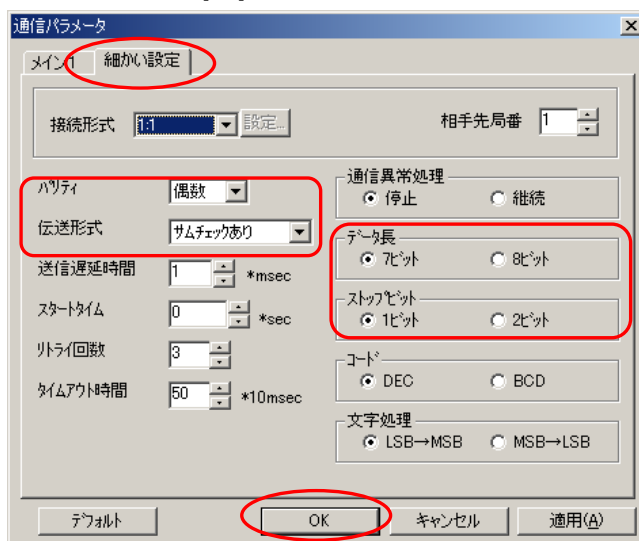
「通信パラメータ」ダイアログが表示されます。

ボーレート：115K BPS に設定、**信号レベル**：RS232C をチェックします。



[細かい設定] タブをクリックします。

パリティ：偶数、**伝送形式**：サムチェックあり に設定、**データ長**：7ビット、**ストップビット**：1ビット をチェックして、[OK]をクリックします。



以上で V - S F T の設定は完了です。

F3LC12-1Fのディップスイッチ設定

F3LC12-1Fのパラメータ設定は、ユニット側面に付いているディップスイッチで行います。

- SW1を“C”にします。(C:115.2kbps)

- SW2を以下の設定にします。
 BIT2、3、5をONにします。(2:PARITY YES、3:EVEN、5:CHECK SUM YES)
 その他はOFFにします。

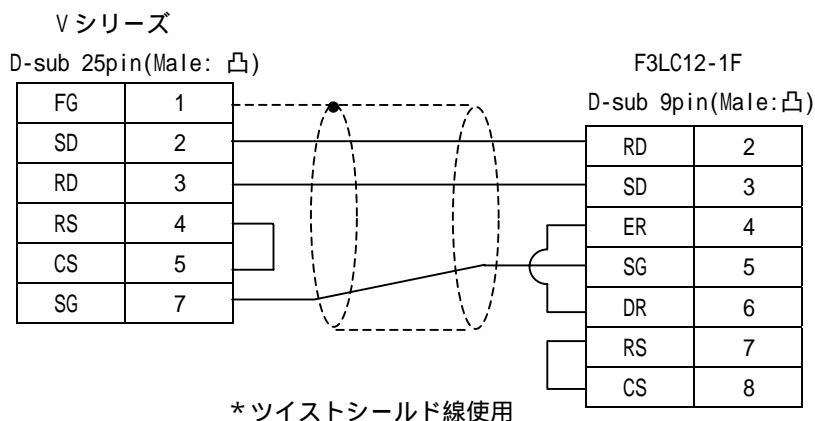
- SW3はすべてOFFにします。

4. 接続

CPUモジュールのプログラミングツールポートと接続する場合

横河電機製ラダ - 転送ケーブル「KM11-2N」を使って、VシリーズとFA-M3Rを接続します。

パソコンリンクモジュールF3LC12-1Fと接続する場合



お問い合わせは...

発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208